

オーディオ実験室収載

My Sonic Signature Gold の展開(2)

— ヴィヴァルディを聴く(2) —

1. はじめに

前報(1)では、ヴィヴァルディの四季のアナログ盤を聴きましたが、今回は CD と MQA-CD と Blu-ray Disk を聴いてみます。

2. My Sonic Signature Gold の試聴方法

試聴方法は My Sonic Signature Gold の活用(13)と同様です。今回の曲はヴィヴァルディの四季の CD と MQA-CD と Blu-ray Disk です。

【CD】

PHILIPS PHCP-9257

サルバトーレ・アッカルド(Vn)他

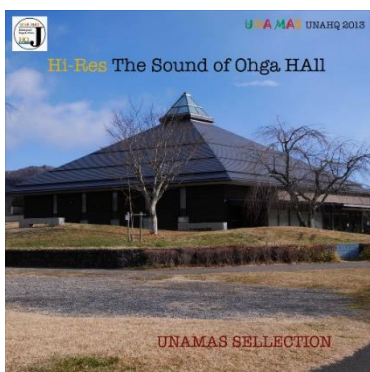
PHILIPS PHPC-3430

イ・ムジチ マリアーナ・シルプ(Vn)

【MQA-CD】

OTTAVA OTVA-0020

UNAMAS String Quartet



【Blu-ray Disk】

CAMERATA CMBD-80004

イ・ソリストティ・ディ・ペルージャ パオロ・フランチェスキーニ(Vn)



3. My Sonic Signature Gold の試聴結果

PHILIPS のアッカルド盤は、ゆったりとしたテンポでアッカルドのヴァイオリンが艶やかです。

PHILIPS のイ・ムジチ盤は、前報(1)の2枚のアナログ盤に似たイ・ムジチ調で、違和感がありません。

OTTAVA の UNAMAS String Quartet 盤は、[ディスコグラフィー【2019No.124】](#)で報告していますが、ところどころに強調感があつてバランスが崩れており、MQA-CDらしいメリットが感じられません。

CAMERATA のイ・ソリスティ・ディ・ベルージャ盤は、Blu-ray Disk ですので、DMR-UBZ1 で再生してみました。高音質の Blu-ray Disk という触れ込みで買ったものですが、CD に比べて特段の魅力はありませんし、演奏も現代風になっています。以上の他、原盤が見当たらない、レーベル名不明のジュリアーノ・カルミニョーラ (Vn) とソナトーリ・デ・ラ・ジョイオーサ・マルカの CD から CDR にコピーしたものがあり、カルミニョーラの何とも奔放な自由自在のボウイングテクニックが聴きものです。

4. まとめ

アッカルド盤とイ・ムジチ盤が、この曲のイメージに合っているように感じます。

以上